

計画段階評価対応方針

【河川事業】

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
鵠川総合水系環境整備事業 北海道開発局	・むかわ町は、市街地の東部を流れる鵠川において、『市街地に自然を導く水と緑の軸であることから、身近に水と親しめる水辺空間の形成』を目指しているが、水辺空間の利用促進が図られていない。	むかわ町が掲げるまちづくりの普遍の理念『人と自然が輝く清流と健康のまち』に沿って、むかわ町まちづくりと一体となり、鵠川の河川環境の整備等を通じた自然緑地や都市景観の形成と、「鵠川を活用し鵠川地区・穂別地区をつなぐことによる地域振興」を図る。	・鵠川地区と穂別地区において、水辺利用が可能となる拠点として、既存施設との連携を考慮し、複数の環境整備案を立案。 ・対象箇所の特性を考慮して「実現性」、「アクセス性」、「観光機能」、「経済性(コスト)」、「維持管理の持続性」、「地域社会への影響」、「環境・景観への影響」の7つの評価軸について、それぞれ評価を実施。 【鵠川地区】 (A案) 鵠川大橋下流左岸～たんぼぼ公園構内水路 (鵠川2k500～3k200付近) (B案) 鵠川大橋下流左岸～たんぼぼ公園上流右岸 (鵠川2k500～3k500付近) 【穂別地区】 (A案) 穂別橋下流右岸 (鵠川40k600～40k900付近) (B案) 穂別橋上流～リバーサイドパーク上流左岸 (鵠川41k～42k200付近)	比較した2案のうち、かわとまちが融合した環境整備にあたっては、アクセス性、経済性、環境・景観への影響等のそれぞれの面から、鵠川地区は「B案. 鵠川大橋下流左岸～たんぼぼ公園上流右岸」、穂別地区は「B案. 穂別橋上流～リバーサイドパーク上流左岸」の事業内容が妥当。